

働き盛りの健康づくり支援事業「事業所まるごと健康宣言」 優良取組事業所表彰式（第3回）

令和元年9月末までに健康宣言した265事業所の中で、事業所ぐるみで健康づくりに関する活動に積極的に取り組んだ事業所のうち、特に優れた取組みを行った8事業所に対して、令和2年3月9日に香川県庁本館21階特別会議室において、知事及び協会けんぽ香川支部長から表彰を行いました。



受賞事業所



表彰式の様子



受賞者代表挨拶

受賞事業所の評価された取組み

知 事 賞

四国興業株式会社（高松市）

【取組内容】

- ・従業員全員に万歩計を配付し、入力シートを活用して日々の歩数を各自入力管理し、目標歩数を目指した。表彰制度を設けることで、運動習慣の定着を促した。
- ・健康診断の再検査や精密検査に対する特別有給休暇を新設するなど、受診しやすい環境整備に努めたうえで、対象者に受診勧奨した。

楽しみながら歩数を伸ばす

従業員の高齢化が進んでいるなか、生活習慣病による欠勤、病欠等を防止するため、運動促進を図ろうと平成30年7月から取り組みを開始した。

従業員全員に万歩計と、約239万歩で四国88カ所を巡る記録シートを配付。毎日の歩数を各自で記録し、9か月間でゴールを目指した。また、達成賞や飛び賞等の表彰制度を設け、入賞者には会社の全体会議で表彰するなど、運動を楽しみながら継続できるよう工夫を施した。

昨年度は、従業員の約38%が期間内に目標を達成することができた。さらに、特別有給休暇として「ヘルスケア休暇（年2日）」を新設し、健康診断の再検査や精密検査が受診しやすい環境整備にも取り組んでいる。特別休暇を設けたことで、会社は従業員に対し再検査等の受診を強く促すことができ、従業員も一人ひとりが健康を意識する職場風土となってきた。



職場の様子

小豆島ヘルシーランド株式会社（土庄町）

【取組内容】

- ・出前講座「メンタルヘルス研修」を利用し、ストレス対処法やセルフケア、簡単な体操を学ぶほか、外部の相談窓口を周知するなど、健康管理意識の向上を図った。
- ・毎朝のラジオ体操に加え、従業員だけでなく、家族も参加できる運動機会の場を定期的に提供し、健康づくりや交流機会の創出に取り組んだ。

健康スポーツ担当者による取り組み

①事業所が島内6カ所に点在しており、従業員の交流できる機会が少ない。②県外からの移住者や外国籍の技能実習生なども多い。③デスクワークが主な部署は、運動不足になりがちな従業員が多い。このような課題があり、コミュニケーション向上や運動不足解消の目的で平成28年頃から従業員の運動を促進する取り組みを開始した。

新入社員などの若手メンバー4名を「健康スポーツ担当」として選出し、月3回体育館を借りて、3種目のスポーツを行っている。社内の全従業員にアンケートを行い、女性や少人数でも参加しやすい種目を設定した。予約不要で、従業員だけでなく家族や友人も参加できるため、気軽に参加できて続けやすいと好評となっている。心身のリフレッシュはもちろん、様々な人との交流の場となっており、入社間もない従業員などの離職防止にも繋がっている。



体育館でバドミントンをしている様子

宝田電産株式会社（三豊市）

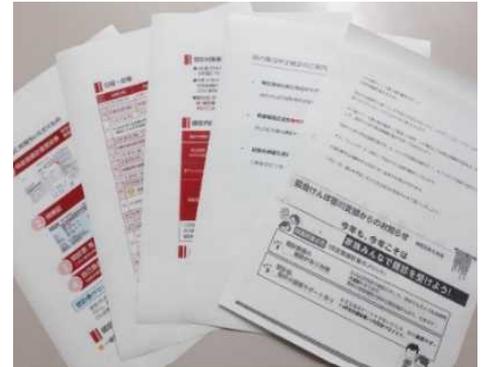
【取組内容】

- ・ 特定健診の対象家族がいる従業員に、協会けんぽのホームページに掲載された集団健診案内を渡し、被扶養者への特定健診の受診勧奨だけでなく受診確認も行った。被扶養者健診受診率の目標を設定し、秋の集団健診の際には申し込みはがきを添付して受診勧奨するなど、受診率向上に積極的に取り組んだ。

「社員は人財である」

「事業所まるごと健康宣言」を知り、改めて従業員の健康について考えた際に、「従業員だけでなく、その家族も健康であってこそ、従業員が心身ともに健康で働けるのではないか」と思い、従業員の家族への健診受診勧奨を平成30年7月から取り組み始めた。

特定健診対象の家族がいる従業員を通して、集団健診時期などに定期的に受診を勧めた。案内の際には健診を受けてもらえるようにと、分かりやすいパンフレットを探したり、お知らせ通知を作成するなどの工夫をし、申し込みはがきも添付した。勧奨後の受診確認を行ったところ、目標である3割以上が受診する効果がみられた。また、従業員からは、「家族も健診を受けられることを初めて知った」などの声が聞かれた。従業員を通して案内することで「従業員本人が自分の家族の健康について考え、話合うきっかけになれば」と考えている。



独自に作成した勧奨用の案内通知

株式会社伏見製薬所（丸亀市）

【取組内容】

- ・ 食堂及び管理棟、事務所の階段に、階段用消費カロリーステッカーを見やすい場所に定期的に貼り、運動機会の創出に取り組んだ。日々の業務で生じる階段の昇降がダイエットや運動に繋がっているという事を、一目で分かりやすくすることで、従業員の健康意識啓発を図った。

階段を活用した健康意識の啓発

従業員が、日頃から健康を意識できるよう、身近で気軽に始められる事を取り入れようと、会社の食堂や事務所などの階段に、「階段用消費カロリーステッカー」を貼って、運動機会の創出に取り組んでいる。階段を登ることによって消費するエネルギー量が書かれたステッカーを、一目で見えやすいように、文字数や大きさ、貼る位置などを工夫して、階段の一段目、中段、最上段それぞれに貼り付けた。汚損時に貼り換えしやすいことも考慮した。

従業員には、日々の業務で生じる階段の昇降が運動やダイエットに繋がっているという意識が出てきており、自然と健康意識の定着にも繋がっている。また、従業員だけでなく、来客にもステッカーについて声をかけられ好評を得ており、コミュニケーション機会の創出や外部の方に対する健康意識の啓発にも役立っている。



ステッカーを掲示した階段

協会けんぽ香川支部長賞

四国工商株式会社（多度津町）

- ・従業員に健康アンケートを行ったところ、歯科検診を希望する意見があった。このため、歯科検診を勤務時間内に会社費用負担で行うこととし全従業員が受診した。

ずゞや株式会社（高松市）

- ・部課長に対し所属員の健康診断の状況を把握し、再検査の対象者が速やかに受診できる時間を確保するよう指示した。また、個々人がより柔軟な働き方を選択できるよう、法定を超える育児・介護のための短時間勤務制度を導入し希望者が利用した。

高松帝酸株式会社（高松市）

- ・45歳以上の全従業員を対象に腹部超音波検査を会社費用負担で実施し、定期健康診断を充実させた。また、精密検査の受診率向上のため、対象者の受診時間を出勤扱いとし費用の一部を会社が補助した。

株式会社FUJIDAN（東かがわ市）

- ・従業員のヘルスリテラシー向上を図る目的で保健福祉事務所の健康出前講座を年3回開催した。また、社員食堂で毎週「食堂の日（くじ引きで座席のシャッフル）」を設定したり、全従業員対象の花見・バーベキューを開催する等部門を超えた従業員同士のコミュニケーションの機会を増やした。

（五十音順）